

第2章 地域の概況

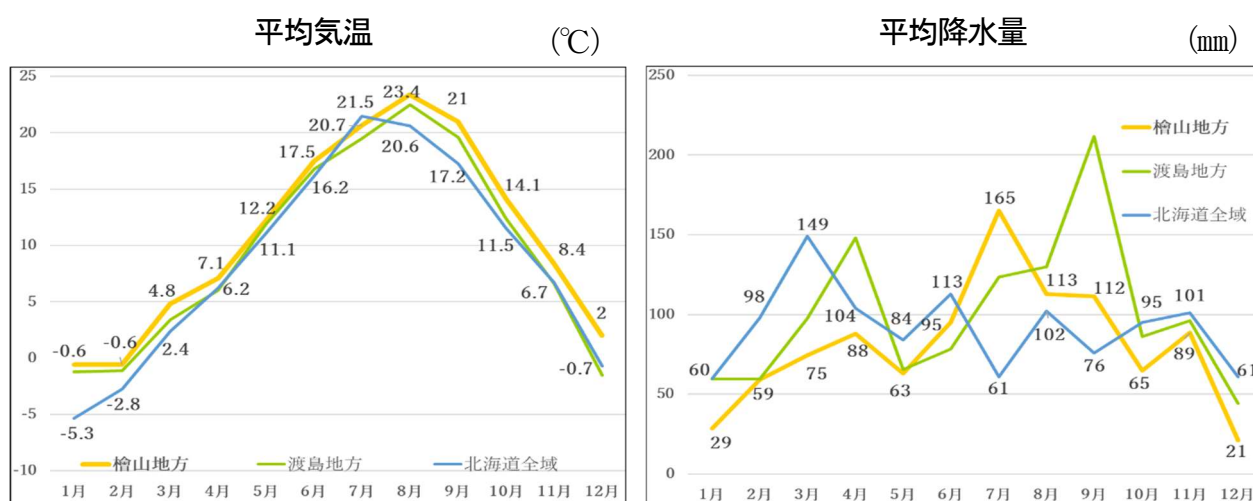
1 地勢・地理

道南地域は、北海道南西部の渡島半島に位置し、東側の「渡島総合振興局管内」（以下「渡島地方」という。）と、西側の「檜山振興局管内」（以下「檜山地方」という。）から構成されている。

【渡島地方】

渡島地方は2市9町で構成されており、総面積は約3,937km²で、長崎県(4,131km²)よりやや小さく、全道83,424km²のうち4.7%を占めます。日本海に面する南西端の松前町から、南に津軽海峡、東に太平洋を巡り噴火湾に面する北端の長万部町まで約400kmの非常に長い海岸線を有します。中央部には常時観測火山の駒ヶ岳があり、山麓の大沼・小沼・葦菜沼の3つの湖沼を含む一帯は「大沼国定公園」に指定されているほか、「松前・矢越」、「恵山」、「檜山」の3つの道立自然公園があるなど、風光明媚な自然環境を有する地域となっている。

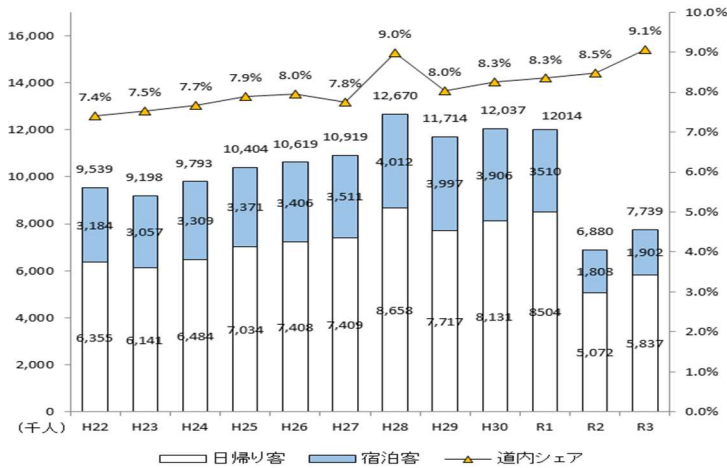
気候については、全般的に寒暖の差が小さく、温暖な気候であり、積雪も比較的少ない地域ですが、渡島半島を挟んで南西側(日本海側)・南東側(太平洋側)の両方から暖かく湿った空気が入りやすいため、降水量は比較的多い。



【出典】国土交通省気象庁(令和2年)

北海道の中でも他地域と異なる気候風土や歴史文化を有しており、豊かな自然に恵まれているほか、異国情緒漂う函館や我が国最北の城下町である松前など、長い歴史に培われた街並みがあり、さらには、函館平野に代表される肥沃な大地が生み出す農産物や太平洋・日本海の2つの海に育まれた海産物などの豊かな「食」など、数多くの魅力が存在し、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数は大幅な減となっているものの、国内外から多くの観光客が訪れる地域となっている。

管内日帰り・宿泊客別入込客数推移



市町村別観光入込客数 (千人)

市町村名	R2年度	R3年度	前年比	構成比
函館市	3,102.8	3,462.3	111.6%	44.7%
北斗市	428.5	516.9	120.6%	6.7%
松前町	136.3	186.9	137.1%	2.4%
福島町	63.6	59.6	93.7%	0.8%
知内町	88.6	104.1	117.5%	1.3%
木古内町	434.6	505.0	116.2%	6.5%
七飯町	1,198.2	1,405.0	117.3%	18.2%
鹿部町	424.3	424.7	100.1%	5.5%
森町	543.0	642.7	118.4%	8.3%
八雲町	311.1	306.5	98.5%	4.0%
長万部町	149.4	125.6	84.1%	1.6%
合計	6,880.4	7,739.3	112.5%	100.0%

管内の市町は、函館市から放射状に伸びる道路と海岸線を結ぶ道路で結ばれている。道央地域に結ぶ幹線道路が国道5号のみとなっているなど、防災対策を含め、道路網の整備が課題となっており、北海道縦貫自動車道、函館・江差自動車道、高規格道路等の早期整備が望まれている。

管内主要道路状況図

